

令和5年度覚醒プロジェクト よくあるご質問

2023/09/13 版

覚醒プロジェクトへの応募対象・応募内容について

Q1：高校生・大学生でも応募できますか？

A1：いいえ、応募はできません。高等専門学校の特攻生または大学院生、ポスドクなどの大学や研究機関に所属する研究者、または企業等に所属している、35歳未満（2023年4月1日時点）の方が対象となります。

Q2：グループで応募する場合、グループ全員が、提案者の要件を全て満たさなければならないですか？

A2：はい。グループ全員が、応募要領にある提案者の要件を全て満たしていただく必要があります。各人の所属する組織が異なっても、所属組織から事前の承諾があれば問題ありません。なお、雇用契約を締結するのは代表者のみとなります。

Q3：会社として応募することはできますか？

A3：会社などの法人としての応募は受け付けていません。個人または個人からなるグループでの応募となります。

Q4：複数のテーマについて応募できますか？

A4：はい。異なるテーマで、最大3テーマまで提案ができます。ただし、採択されるのは1つのテーマのみとなります。

Q5：海外在住の日本人ですが、海外在住でも応募はできますか？

A5：いいえ。日本国籍を有することに加えて、研究開発期間を通して、日本国内に居住していることが応募の条件です。

Q6：提案するテーマと同じ内容で他の機関へ応募しており、現在結果待ちですが、応募することは可能でしょうか？

A6：応募自体は可能ですが、他の機関にも応募している場合は、その旨を申告ください。他の機関に同じテーマが採択・採用された場合、および他の期間に採択・採用されたテーマと応募いただいたものが重複していると判断した場合は、本事業では採択しません。なお、提案内容との重複については、PM、産総研ほか有識者で構成される審査委員会等が判断します。

Q7：研究開発期間中に、特別研究員などに採用されて研究奨励金を受ける、あるいは就職の予定があっても、応募できますか？

A7：本事業に従事することで、すでに採用されている、あるいは今後採用される身分や業務に支障が出る可能性があるため、注意が必要です。応募にあたっては、奨励金の支払い元や就職予

定先に事前に確認ください（研究開発期間中に就職の予定がある方は、プロフィールシートに必ず入力してください）。

応募手続きや応募書類について

Q8：応募書類は、日本語以外の言語で記載しても応募できますか？

A8：いいえ、できません。応募書類は、日本語でご用意ください。

Q9：応募書類はメールでの送付や、郵送、持ち込みでの応募はできますか？

A9：いいえ。所定の応募方法以外では受け付けておりませんので、ご了承ください。

Q10：申請時にファイルを送付し忘れた場合、申請後に内容を差し替えたい場合は、どうすれば良いでしょうか？

A10：応募期間中であれば、再度新たにご応募ください。応募締切後は、一切変更はできません。

Q11：応募するにあたって、伴走してほしいPMを選ぶことができますか？

A11：PMを選ぶことはできません。

審査について

Q12：採択・不採択通知は、いつ頃の予定でしょうか？

A12：応募締切から1カ月後を目処に、応募者全員にメールで通知する予定です。それ以前の結果に関わるお問い合わせ、発表後の不採択の理由や選考過程については、一切お答えできませんので、ご了承ください。

Q13：審査はどなたが行うのでしょうか？

A13：PM、産総研ほか有識者で構成される審査委員会等での審議を経て、採択テーマを決定します。なお、PMと同一の研究組織や企業に所属している方からの応募に際しては、当該PMは審査を行いません。

支援について

Q14：支援される300万円は一括でもらえますか？ また税込でしょうか。

A14：契約期間中、分割して支払われます。また支払いに際しては、所得税・復興税等が控除された額をお支払いします。